

いなざわ ウィルネット通信



☆発行☆
いなざわウィルネット
発行責任者／恒川なおみ
〒492-8269
稲沢市稲府町1番地
稲沢市地域協働課
TEL 0587-32-1111
FAX 0587-32-1196

いなざわ男女共同参画社会づくり学習会

6月16日(土)、名古屋大学付属病院泌尿器科医師であり、NPO法人TTSファミリー代表の松尾かずな先生をお招きして、あいち男女共同参画財団といなざわウィルネットとのパートナーシップにより「いなざわ男女共同参画社会づくり学習会」を開催しました。

今回のテーマは、「LGBTってなんだろう？～多様性を大切に作る社会～」。

今でこそ、社会全体がある程度は「LGBT」の存在を認めるようになったものの、歴史的に見れば、多くの偏見や差別感が世界規模で発生していたこと、松尾先生自身もその当事者の一人として人知れず苦勞をされたことなど、ご自身の経験を交えながら、分かりやすく、ユーモアたっぷりにお話して頂き、参加者もLGBTについての理解が深まり、有意義な時間を過ごすことができました。

「LGBT」とは、

L⇒レズビアン(同性を好きになる女性)

G⇒ゲイ(同性を好きになる男性)



B⇒バイセクシャル(両方の性を好きになる人)

T⇒トランスジェンダー(体の性と心の性が異なる人)

LGBTに対する理解は少しずつ進んでいるものの、差別や偏見はまだ残っており、適切な医療的ケアを受けられないことも少なくないようです。

現実の社会の中では「踏んだ・踏まれたの関係」が、多く存在しているとのこと。踏んでいる方は、踏んでいることに全く気がついていない。つまり、差別している方、いじめている方は、差別していることに気がついていないことが多い、相手が傷ついていることに気がついていない、このことが一番の問題であり、問題を大きくする原因でもあるようです。気遣いができる豊かな社会になること、配慮ある社会になることが重要であると、松尾先生は強調されました。

誰もが自分らしく暮らすためには、互いを認め合うことが大切だと思います。私たち一人ひとりも「大きな不安を抱えた当事者や家族が抱える悩みにどのように向き合えばいいのか？」奥深い問題ですが、現実から目をそらすことなく、社会全体で取り組んでいくことが重要であるのではないかと思います。

今回の学習会は、多様な性のあり方について知識を深め、社会でどのような配慮が求められているかを学ぶよい機会になりました。

平成30年度キャッチフレーズ 「走り出せ、性別のハードルを超えて、今」

毎年6月23日～29日までの1週間は、「男女共同参画週間」です。

男性も女性も、職場、学校、地域、家庭で、それぞれの個性や能力を発揮することができる「男女共同参画社会」を実現するためには、私たち一人ひとりの取り組みが必要です。私たちもそれぞれの職場、地域、家庭でワーク・ライフ・バランスについて考え、男女が共に、様々な分野において活躍できる社会をつくる必要があります。

いなざわウィルネットは、男女共同参画社会の実現に向けたさまざまな取り組みを推進しています。



ショッピングセンターで啓発活動の実施



平成30年度男女共同参画週間パネル展

講演会のご案内

第21回いなざわウィルネット男女共同参画社会づくりフォーラム
演題 「ダニエルのすごくあたりまえの男女共同参画論」
講師 ダニエル・カール

と き 平成30年11月18日（日）午後1時30分～3時30分

ところ 名古屋文理大学文化フォーラム 中ホール

定 員 500人（市内在住・在勤のかた）

入場料 無料（要座席指定券） ※ 託児無料・手話通訳あり

申込み 往復ハガキにて申込み（応募多数の場合は抽選）

※ 詳細は、市広報10月号、チラシまたはホームページをご覧ください。

